

福井大学医学部は、
1000年に一度の大雨で
最大約* **3.0m**
浸水する想定です。



えい坊くん



一福丸

※紹介している最大浸水深は、福井県のシミュレーションを元にしてます。
※実際の浸水では、想定よりも浸水深が大きくなる可能性があります。
※CGの水面を真景に重ねています。

ハザードマップの確認を



永平寺町の防災情報



避難所・ハザード
マップの確認はこちら

NHK
ニュース
防災

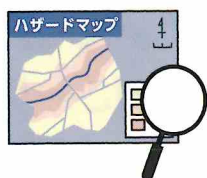
NHKニュース・防災アプリ



命を守る情報を手元へ
ダウンロードはこちら

ハザードマップ これだけは

1 ハザードマップを
探す



2 自宅が何色の
場所にあるか確認



3 避難ルートを
チェック



1 ハザードマップを探す

災害から命を守るはじめての一步
ハザードマップ
入手方法は大きく2種類



「ハザードマップ 自治体名」で検索
お住まいの自治体サイトで
ハザードマップが公開されています



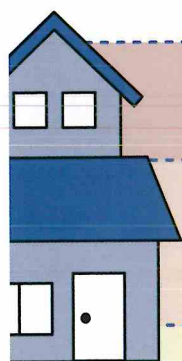
「重ねるハザードマップ」をチェック
国土交通省のサイトで
住所から浸水リスクを検索できます
未掲載の川もあるので注意



災害時にアクセスが集中すると
閲覧できなくなる可能性も
事前に印刷して紙でも持っておこう

2 自宅が何色の 場所にあるか確認

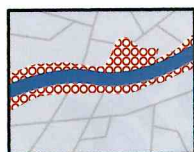
浸水の深さによって避難の方法が変わります



2階水没レベル (3~5m)
2階建ての住宅でも家に
いると助からない

1階水没レベル (0.5~3m)
平屋の場合は家にいると
助からない

床下浸水レベル (~0.5m)
周囲が冠水時は外出せず
家にとどまる方が安全



家屋倒壊等氾濫想定区域

家ごと流される危険あり。絶対に自宅にとどまらないで

過去事例 熊本県の球磨川の水害(2020年)ではこの区域内で
少なくとも5人が自宅ごと流されて死亡

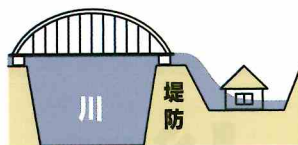
3 避難ルートをチェック

避難場所だけでなく、避難経路も確認



避難場所までのルートに浸水や
土砂災害のリスクがないか確認
危険な場所は避けて

「色が塗られていないから安心!」は間違い



ハザードマップの整備が
間に合わず色が付いていない
場所でも犠牲者は出ています

堤防や橋より低い場所は
浸水の危険があると考える



家が浸水する前に必ず避難を!
浸水が始まると家の中の移動も困難です



避難中に
被害にあうケースが相次いでいます
浸水が始まる前に避難して!